

市議会だより

表題は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。

「伊東かるた」とめぐる “伊東の魅力”再発見

一碧湖

一碧湖は、大池と沼池を合わせたひょうたん型の湖です。湖畔には周遊できる遊歩道が整備されています。(伊東八景)
「伊東かるた解説書より」

※夕日の見える一碧湖

※伊東の自然・歴史・文化を題材にした「伊東かるた(第二版)」(伊東かるたの会制作)の中から「伊東の魅力再発見」をテーマに、編集委員が選んだお気に入りの札を写真とともにご紹介します。

主な内容

- 6月定例会の概要……………【P. 2】
- 常任委員会だより……………【P. 12】
- 一般質問(14議員が登壇)……………【P. 4】
- 議会改革特別委員会……………【P. 12】



令和6年6月定例会



17件の議案等を審議、決定



6月定例会を6月14日から7月1日までの18日間の会期で開会しました

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市認第1号	伊東市税賦課徴収条例の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う条例改正について、令和6年3月31日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	賛成多数で承認
市認第2号	伊東市都市計画税賦課徴収条例の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う条例改正について、令和6年3月31日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	賛成多数で承認
市認第3号	伊東市国民健康保険税条例の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法施行令の一部を改正する政令の施行に伴う条例改正について、令和6年3月31日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市認第4号	令和6年度伊東市一般会計補正予算（第1号）専決処分の報告承認について	静岡県知事の辞職に伴い、令和6年5月26日に実施されることとなった県知事選挙の執行経費に係る補正予算について、令和6年4月10日付で専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市報第1号	令和5年度伊東市一般会計予算繰越明許費繰越し報告について	令和5年12月定例会及び令和6年3月定例会において議決された繰越明許費のうち、物価高騰対策事業など、20事業、10億2,174万6,000円を令和5年度から令和6年度に繰り越したことの報告	市長	報告・質疑のみ
市報第2号	令和5年度伊東市競輪事業特別会計予算について弾力条項の適用に関する報告	令和5年度競輪事業特別会計において、車券売上げが好調に推移し、第12回市営競輪において勝者投票払戻金に予算不足額が生じたため、11億9,580万8,000円について地方自治法及び伊東市特別会計条例の規定に基づき、令和6年3月29日に弾力条項を適用したことの報告	市長	報告・質疑のみ
市報第3号	令和5年度伊東市下水道事業会計予算繰越し報告について	地方公営企業法の規定による建設改良費の繰越しで、川奈処理区分5-70下水道工事など、4件の工事、1億1,066万円を令和5年度から令和6年度に繰り越したことの報告	市長	報告・質疑のみ
市議第1号	伊東市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、専決処分によることを要しない条項の改正で、個人市民税については、公益信託の見直しに係る所得税法の改正に伴う規定を整備する等の改正、固定資産税については、私立学校法の改正に伴う引用条項の整理等の改正を行うもの	市長	全会一致で可決
市議第2号	伊東市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する内閣府令の施行に伴う改正で、小規模保育事業所及び事業所内保育事業所における、満3歳以上満4歳に満たない児童及び満4歳以上の児童に係る保育士の配置基準を強化するための規定の整備を行うもの	市長	全会一致で可決
市議第3号	指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行により、指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等が改正されたことに伴い、伊東市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例のほか、関係条例の改正を行うもの	市長	賛成多数で可決
市議第4号	伊東市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令の施行に伴う改正で、非常勤消防団員等に事故が発生した場合の補償基礎額を改めるとともに、用語の整理を行うもの	市長	全会一致で可決
市議第5号	普通消防ポンプ自動車（CD-I型）購入契約の締結について	契約金額：2,585万円 契約の相手方：株式会社モリタ 東京支店	市長	全会一致で可決

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第6号  討論	令和6年度伊東市一般会計補正予算（第2号）	物価高騰による1人当たり所得税3万円、住民税1万円の定額減税において、その恩恵が十分に受けることができないと見込まれる所得水準の方に対する定額減税補足給付金の給付事業に係る経費、令和6年度に新たに住民税非課税または住民税均等割のみ課税世帯となった方に対する、1世帯当たり10万円を支給する価格高騰重点支援給付金の給付事業に係る経費、市内事業所で使用できるプレミアム率50%（1冊3,000円で4,500円分使える）の商品券事業を実施する物価高騰対策事業に係る経費など、11億9,939万9,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第7号	伊東市功労者表彰について	横山欣正氏	市長	全会一致で可決
発議第1号	刑事訴訟法の再審規定（再審法）の速やかな改正を求める意見書	内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員9名*	全会一致で可決
発選第1号	静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	有効投票20票のうち、小池智明氏17票、高橋達也氏0票、山根一氏0票、酒井豊実氏3票	—	—
請願第1号  討論	オンブズマン制度の導入を求める請願	委員会不採択理由：オンブズマン制度と同様な機能及び効果を持つ制度等の見直しや質の向上を行った上で導入を検討すべきであり、制度の趣旨及び目的などに対する市民及び行政側の相互理解が進んだ上での導入が望ましいことから不採択	不採択とすべしとした委員会報告のとおり賛成多数で不採択	

※各会派代表者及び会派に所属していない議員全員

本会議で行われた討論の概要

※登壇順に掲載しています。会派構成は二ページをご覧ください。

市議第二号

《反対》重岡秀子議員

この条例改正は、事務的負担の軽減等、一定の条件を満たせば、ケアマネジャーの担当人数の上限を増やし、また訪問回数との緩和も可能とするものである。さらに管理者が兼務できる施設の条件から同一敷地内を除くなど、介護現場の根本的な改善ではなく、利用者サービスの低下につながるものと考え、反対する。

市議第六号

《賛成》犬飼このり議員

補正予算の内容はいずれも物価高騰下の負担軽減で市民生活を支えるものであるため賛成するが、複雑でばらつきのある国の制度と支援のための事務手続により、市民にかけられる時間が削られるとしたら自治事務の侵害である。地方自治体として、地方議会として、地方分権・地方自治を守る

伊東市であってほしい。

請願第一号

《採択に賛成》政和会

委員会討論の反対理由や懸念点はいずれも解消可能である。第三者による公正中立な苦情処理機関たる行政オンブズマン制度につき、市民満足度調査の結果やカスハラ対策としての有用性を踏まえると、制度導入に向け適否も含め本市に最適な制度設計について市政での議論を開始すべきと考え、ことから採択に賛成。

《採択に反対》自由民主伊東

オンブズマンの役割とされる公平公正な立場での行政監視とは、本来議員に託された使命であるにもかかわらず、市民から本請願を頂いた事実を、我々は厳粛に受け止める必要がある。新制度導入による安易な課題解決は、議員の責務放棄を意味するため、十分な現

状分析や議会の反省が必要と考え、採択に反対する。

《採択に賛成》犬飼このり議員

制度については何度か導入を求める声があり、行政・市民双方にとって安心感につながる。請願の趣旨に、制度設立に向けた諮問委員会設置と市民参画の推進とあり、無理難題や公序良俗に反しない限り、市民が憲法で認められた請願権を使い求めてきた案件を形にできるように努めていくのも議会の役目である。

《採択に反対》田久保眞紀議員

新たな制度を作る請願であるが、同じ目的で設置された窓口が既に存在し違いが明確化していない。似通った機能が複数あると行政業務の生産効率低下の要因につながるため、窓口や組織は集約・効率化に努め、限られた人員と予算を集中投下して市民サービス向上を図ることが肝要と考える。よって採択に反対する。

閉会中の議会活動

令和6年3月定例会 閉会から	4月11日	議会改革特別委員会
令和6年6月定例会 開会まで	4月23日	常任観光建設委員会協議会
	4月24日	議会報編集委員会
	4月26日	常任総務委員会協議会
	5月13日	常任福祉文教委員会協議会
	5月16日	議会改革特別委員会
	6月10日	議会運営委員会



《採択に賛成》重岡秀子議員
市民の市政に対する疑問や不満に対し、有識者が客観的な立場で調査を行い結果を双方に報告し、行政側に問題があれば改善点も提示するこの仕組みは、行政の透明性や公平性を高め丁寧な説明責任を果たすことで市民の信頼と協働の力につながると考える。本市でも積極的に導入すべきと考え、請願の採択に賛成する。



一 般 質 問

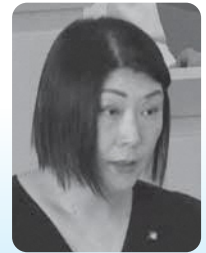


動画はこちら

14議員が登壇し、市政全般について質問しました

(登壇順に掲載しています)

災害関連死を認定する審査会の早急な整備の必要性について伺う



鈴木 綾子 議員
(正風クラブ)

災害関連死は、災害による直接的・物理的な事故死ではなく、災害による傷病の悪化や避難生活の身体的負担による疾病が原因で死亡するケースのことであり、認定されると各自自治体から遺族に対し災害弔慰金が支払われる。各自自治体は、認定を行う審査会等の設置を条例で規定することが努力義務とされており、本市における早急な整備の必要性について伺う。

市長
関係機関等と調整し設置について検討していく

現時点では、国による認定基準等が示されていないことや、広域での災害発生

時の統一した判断の必要性について検討が必要であること等から、本市では審査会等について条例で定めていないが、能登半島地震において災害弔慰金支給の判断等が課題となっており、本市においても、関係機関と調整を行いながら設置について検討していく。

本市における小中一貫校や義務教育学校の導入について考えを伺う

小学校から中学校への進学による環境の変化になじまず、不登校になったり成績が下がる「中一ギャップ」と呼ばれる状況に陥る子供が多いことが課題となっている。近年、小中一貫校や義務教育学校が増加しているが、不登校生徒数の減少や小・中連携による学習面のフォロー及び教員の負担軽減の観点から、本市における導入について考えを伺う。

教育長
適正な環境を整備していく必要があると考えている

本市の学校再編成に当たり、小・中学校共にクラス替え可能な学級数の維持、中学校については学校統合のほか、連続性を重視して指導を進めていく小中一貫校や義務教育学校への移行等、様々な方策を用いて適正な環境を整備していく必要があると考えている。

『その他の質問』 三項目



かわしまき みえ
河島紀美恵議員
(自由民主 伊東)

交差点の信号機撤去後、交通事故が多発していることから、本市の対策を伺う

市道竹の内・静海線と市道渚・和田線が交わる交差点の信号機が撤去されたが、撤去後四か月の間に、人身事故二件、物損事故二件の

交通事故が発生している。さらなる重大な交通事故の発生も危惧され、市民の安全を確保する観点から、本市の対策について伺う。

市長

カーブミラーやドットライン等を設置し安全対策を行うほか、関係機関と交通安全の確保に努めていく

信号機を撤去したことに伴う交通安全対策については、和田湯を背にして信号機が撤去された交差点の左側電柱に、ほかの車両が確認しやすいようカーブミラーを設置し、さらに注意喚起の観点から停止線を強調するドットラインを設置した。また、交差点内のカラー舗装化工事を実施予定であり、今後も関係機関との連絡を密にし、市民等の交通安全の確保に努めていく。

通年利用が可能なプールの建設を目指す上で、本市の抱える課題を伺う

市民が通年で利用でき、健康増進のためにも役立つプールの建設を望む声が多く寄せられていることから、通年利用可能なプールの建設を目指す上で、本市が抱える課題について伺う。

教育長

プールを含むその他体育施設の新設・更新について、優先順位を決定しつつ本市体育施設の在り方等を検討していく

本市には公設と民間のプール施設がある中、一部民間のプールは全天候型であることから、健康増進及び介護予防を目的とした水中運動教室を実施している。通年利用が可能なプールの建設については、施設の規模等様々な課題についての検討や、その他体育施設の新設・更新について優先順位を決定していく必要がある。本市体育施設の在り方等について検討していく。『その他の質問』 三項目



たけもとりさや
竹本力哉議員
(公明党)

伊東市民病院が掲げる目標の達成に向けた病院運営に対する関わりについて伺う

伊東市民病院は、救急を中心とした急性期診療等三つのミッション及び医療・保健・福祉の総合サービス等を当面の目標に掲げ運営しているが、これら目標達成のために、病院運営に対し、本市としてどのように関わっているのか伺う。

市長

指定管理者と運営に関して協議を行い、人材確保や医療機器整備等への財政的な支援も継続的に行っている

管理運営協議会を年三回開催し、指定管理者である地域医療振興協会と、市民病院の患者数の推移や、病院事業等の運営に関して協議を行うとともに、看護師

等を対象とした奨学金事業、就業環境の向上を目的とした保育所運営事業などの人材確保や医療機器等の整備に対する財政的な支援も継続的に行っている。

文化財の保護・保存について、どのような施策を実施しているのか伺う

第五次伊東市総合計画における政策目標「心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち」の「歴史・芸術文化の振興」における基本的な取組として掲げている、文化財の保護・保存について、具体的にどのような施策を実施しているのか伺う。

教育長

文化財保護監視員を配置しての指定文化財のパトロール、整備や保護に関する補助金の交付を行っている

文化財保護監視員を配置し、指定文化財のパトロールを実施するほか、文化財等調査整備事業補助金及び

指定文化財保護事業補助金を交付している。また、指定範囲が広大な宇佐美北部の史跡江戸城石垣石丁場跡については、保存活用計画を定め、保存管理、活用、整備、運営体制及び調査研究の五項目について経過観察を行うとともに、定期的な検証を実施し、保存・活用に努めている。

『その他の質問』 六項目



むらかみしょうへい
村上祥平議員
(正風クラブ)

消防団員の準中型自動車免許取得に対する助成制度の導入について考えを伺う

平成二九年の道路交通法改正による免許区分の変更により、同年三月以降に普通自動車運転免許を取得した団員は、消防車を運転できない状況となっている。消防車の運転には準中型免許以上の取得が必要である

が、現役消防団員の人数確保が難しい中、今後懸念される運転手不足解消のため、準中型自動車免許取得に対する助成制度の導入について考えを伺う。

市長

免許取得に対する補助制度の早期導入のため調査、研究していく

準中型免許は、市内の自動車教習所では取得ができないことから、一つ上の基準の中型免許を取得するか、市外の教習所で準中型免許の取得が必要となる。消防団員数が減少傾向にある中、運転できる団員の確保は大きな課題であると認識しており、準中型免許以上の取得に対する、補助制度を早期に導入できるよう調査、研究していく。

新しい交通体系の検討及び実証運行など導入に向けた取組について考えを伺う

高齢化社会において、免許返納により公共交通機関

を利用する方が増え、交通空白地域解消や料金改定による交通費の負担増加等が課題となっている。利便性を高め交通手段を確保する観点から、路線バスやタクシーだけでなく新しい交通体系の導入を検討し、実証運行等の導入に向けた取組を行っていく考えはないか伺う。

市長

多様な関係者と連携・協働し状況を注視していく

本市の交通空白地域解消のための取組として、伊豆高原駅と赤沢地区を結ぶデマンド型乗合タクシーの継続や伊豆高原地域での実証運行を実施しているほか、市内外の交通サービス事業者が連携した実証事業の実施も検討されており、事業者に必要な助言を行いながら状況を注視していく。

『その他の質問』 四項目



すぎもとかずひこ
杉本一彦議員
(伊東未来)

再設計に向けた新図書館建設事業についての市長の考えと今後の生涯学習センター中央会館について伺う

新図書館再設計に向け、市民アンケート等での市民の意見を聴いた上で、改めて市長の考えを伺うとともに、新図書館が代替施設になると考える生涯学習センター中央会館の今後を伺う。

市長

「夢と未来を育む図書館」の実現を目指して再設計を進めるとともに、中央会館で実施する各種事業の開催場所の検討等、新図書館の開館に向け調整する

新図書館建設事業については、再設計に向けたアンケートのほか説明会を開催したところ、新図書館建設を含めた本市図書館施策全

般に係る有意義な意見交換ができ、コンセプトに掲げる「夢と未来を育む図書館」の実現に向け再設計を進めていきたいと考える。

生涯学習センター中央会館については、耐震性等を考慮し継続利用は想定しておらず、芸術祭等各种事業の開催場所の検討等、新図書館の開館に向け調整していく。

伊東駅前ロータリーの現状及び今後の対応について伺う

公共交通アクセス等が良好になるよう整備計画を進めている伊東駅前ロータリーについて、現状の混雑状況の把握とその対応について伺う。

市長

一般車両を中心に混雑が見受けられており、伊東駅前広場整備計画の早期実現を目指しつつ、関係機関と連携を図り対応していく

伊東駅前ロータリーにつ

いては、バス等の営業車両のロータリーとして整備されたが、多くの一般車両がロータリーを使用しており、営業車両が進入できない状況や車路スペースでの乗客の乗降等危険な状況も散見されている。様々な交通課題の解消のため、現在進めている伊東駅前広場整備計画の早期実現を目指しつつ、関係機関と対応を検討する。

『その他の質問』 六項目



むしあきひろ お
虫明弘雄議員
(自由民主 伊東)

温泉の魅力周知のため、どのようなプロモーション活動を実施しているか伺う

本市の観光基本計画の中で、ホスピタリティあふれる温泉街を目指していくことを掲げているが、本市の最大の魅力である温泉を広く周知させるため、どのようなプロモーション活動

実施しているか伺う。

市長

様々な媒体を活用してPRに努め、温泉モニュメント設置などの活動に取り組んでいる

本市は全国でも有数の温泉湧出量を誇り、国内外から温泉を楽しみに多くの来遊客が訪れている。温泉は本市の観光の核であり、温泉の活用は欠くことができない手法であるため、ホームページやパンフレットなどの様々な媒体を活用してPRに努めるとともに、足湯やお手湯などの温泉モニュメントを設置するなど、伊東温泉のプロモーション活動に取り組んでいる。

地域タウンミーティングにおける地域課題の傾向について伺う

人口減少社会における町内会・自治会との関係性や今後の在り方に関し、地域タウンミーティングにおける地域課題の傾向について

伺う。

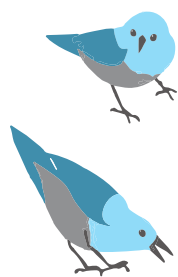
市長

全体としては道路や歩道の改良、学校施設の改修、防災に関する内容が多い

就任以来、市民の生の声を直接伺い、意見を市政に反映するため、毎年地域タウンミーティングを開催しており、地域の方ならではの視点で地域の身近な課題について多くの意見をいただいているが、全体としては、道路や歩道の改良、学校施設の改修、防災に関する内容が多い。

昨年度は、東小、西小、旭小学校を統合したことから、通学路の安全対策や学校跡地の利活用についても多く、今年度は、能登半島地震を受け、特に防災に関する意見や質問が多く寄せられている。

『その他の質問』 六項目



すざもとかずや
杉本憲也議員
(政和会)

公募型プロポーザル方式において、実績要件を参加資格要件とすることについて考えを伺う

本市の公契約における公募型プロポーザル方式について、実績要件を参加資格要件として採用するメリット及びデメリットを伺う。

また、参加資格要件に実績要件を掲げるとは、広く新たによりよいアイデアを募るという本方式の制度趣旨を没却させることになりかねず、少なくとも参加資格要件における実績要件は設けるべきではないと考えるが、本市の考えを伺う。

市長

個々の業務に応じた実績要件等の設定の検討が重要であると認識している

実績要件を採用するメ

リットとして、過去の実績や経験に基づく高度な知識・専門的な技術等を踏まえた提案を受け業者を選定することで、安定的かつ質の高い行政運営に資すること等があると考えている。

デメリットとしては、設定方法いかんによっては新規参入が難しくなるおそれや多様な提案を得られない可能性があると考えているが、本方式により実施する業務は多岐にわたることから、個々の業務に応じ実績要件等の設定について検討することが重要である。

公契約における市内事業者からの優先調達の実現化について市長の見解を伺う

本市の行政課題の一つと考える地域産業振興の観点から、公契約において市内事業者から優先調達することをルール化すべきと考え、市長の見解を伺う。

市長

地元企業の競争力強化と健

全な育成に努め市内経済の振興に努めていく

当市の契約事務において、業者の選定は物品の入札参加資格登録業者名簿を基に、市内業者では調達できない場合を除き、原則市内業者への発注を行っており、今後も透明性、公平性及び競争性の確保に努め、地元企業の健全な育成により市内経済の振興に努めていく。

『その他の質問』 四項目



しのはらみねこ
篠原峰子議員
(公明党)

帯状疱疹ワクチン等の任意接種への助成に対する本市の考えを伺う

任意接種である帯状疱疹ワクチン、おたふくかぜワクチン、子供と妊婦等へのインフルエンザワクチンの接種に対する助成について、本市の考えを伺う。

市長

ワクチンの供給体制等医師会と検討を進め、任意接種への助成実施に向け前向きに取り組んでいく

带状疱疹ワクチン等については、予防接種法における定期接種としての取扱いとなっておらず、公費での助成は実施していない状況である。

しかし、コロナ禍を経てワクチン接種への関心の高まりとともに、任意接種への助成の必要性も認識していることから、ワクチンの供給体制や実施医療機関の確保、接種時期及び費用等を医師会の先生方と慎重に検討を進め、予防接種法における今後の取扱いの動向や他市の事例等の調査・研究を行い、実施に向け前向きに取り組んでいく。

集落支援員制度について、本市においても導入する考えはないか伺う

総務省が推進している集

落支援員制度は、集落の維持・活性化を図る取組であるが、本市においても導入する考えはないか伺う。

市長

地域の意向を伺いつつ先進自治体の活用事例を研究し、活用について検討する

集落支援員制度については、集落対策の推進に関しノウハウや知見を有した人材を地方自治体が任用し、集落点検を実施するとともに、集落の在り方について話し合いを促進するものであり、必要と認められた集落の維持・活性化対策にも支援員を活用できる制度と認識している。集落支援員の活用に当たっては、地域の意向に加え受入体制や市との連携体制等環境づくりも重要と考えるため、地域の意向等も伺いつつ先進自治体の活用事例を研究し、活用について検討していく。

『その他の質問』 五項目



おおかわかつひろ
大川勝弘議員
(伊東未来)

妊産婦支援を目的としたヘルプサービスの導入について本市の考えを伺う

子育て世帯への支援策として他自治体で行われている民間企業と連携した家事支援事業のうち、妊産婦支援を目的としたヘルプサービスの導入について本市の考えを伺う。

市長

現状は、育児に困難を抱えている家庭などを対象に家事支援や育児支援を行う人材を派遣している

母子健康手帳交付の際の面談や乳児家庭全戸訪問等の伴走型支援を通じて状況を把握する中、就学前の子供がいる家庭で、近隣に協力者がいないなど育児に困難を抱えている家庭などを対象に、洗濯や掃除などの

家事支援や育児支援を行うために、民間企業と市が連携して人材を派遣しているが、対象者が限定されているため、本事業の実施により、就労や家事・育児から一時的に開放され休息できるとともに、子供と接する時間も確保できるなど、効果的な取組であると考えられることから、実施を検討していきたい。

宇佐美臨海テニス場跡地の活用方法及び今後の方向性について伺う

本市所有財産及び県所有財産の活用及び施設整備に関し、宇佐美臨海テニス場跡地の活用方法及び今後の方向性について伺う。

市長

具体的な施設の建設等も含め、現在調整をしており、暫定的にイベント等で活用いただきたい

宇佐美臨海テニス場跡地は、平成二三年に子育て支援施設建設を念頭に東京都

中央区から取得したが、その後、当該地一帯が津波災害警戒区域に指定されたことから、当初の目的の事業において一度検討を中止している。当該地の利活用については、庁内において提案があったことから、具体的な施設の建設等も含め、現在、調整しているもので、暫定的に地域のイベント等で活用いただきたい。

『その他の質問』 八項目



しのみやかずひろ
四宮和彦議員
(政和会)

キャッシュレス決済ポイント還元事業の成果について伺う

令和六年四月に実施されたキャッシュレス決済ポイント還元事業は、五つの決済方法があり、従来の事業と比較してより幅広い利用が想定される一方、ポイント付与上限が決済ごとに設

定されたことから、より多くのポイント付与を受けるためには、決済手段を駆使しなければならぬ煩雑さがあつた中で、利用状況や本事業の成果について伺う。

市長

市内経済の活性化に大きな効果があつたと考えている

本事業の成果について、キャンペーン終了時の速報値における直接消費額は約一二億九二五二万円、ポイント還元総額は約二億二五〇万円となっており、市内経済の活性化に大きな効果があつたと考えているが、今後、確定値に基づく報告を分析するとともに、事業者へのアンケート調査等の実施により、事業の成果及び課題の把握に努めていく。

公営競技事務所における事務分掌の見直しの経緯について伺う

令和六年度から、公営競技事務所において事務分掌の見直しが行われ、事業係

に加えて管理係が設置されたが、今年度、見直しに至った経緯について伺う。

市長

業務の効率化及び合理化を図るため事務分掌の見直しを行った

全国的に競輪の車券売上げは大変好調に推移しており、本市の競輪事業においても一層の売上げ及び収益向上を図る中で、施設管理等、事業係業務以外の業務量の増加が見込まれるため、業務の効率化及び合理化を図るため事務分掌を見直し、競輪選手宿舎及び予算、労務管理を主に所掌する総務全般の係として管理係を設置した。また、今後のGⅠを含む特別競輪の誘致も視野に入れた体制を整えたものでもある。

『その他の質問』 一項目



しげおかひでこ 重岡秀子議員
(会派に所属していない)

行政区に属していない分譲地等の定住者の状況や町内会等の現状をどのように把握しているか伺う

本市の特性と言える広大な別荘分譲地など一五行政区に属していない分譲地等における定住者の状況や、町内会及び自治会の現状をどのように把握しているか伺う。

市長

行政区所属の有無にかかわらず認可地縁団体等については存在を把握しているが、情報に差異がある

分譲地自治会等については、一五行政区に属しているか否かによらず、認可地縁団体や補助金交付団体、広報紙配達自治会については存在を把握しているが、これらに該当せず存在を把握していない自治会等もあると考える。また、存在を把握している自治会等の現状についても、把握している情報に差異があると認識している。

別室登校相談員に教員免許を持つ相談員を配置したことの効果及び今後の課題について伺う

不登校対策の一環として今年度から配置されることとなった別室登校相談員に、教員免許を持つ相談員を配置したことの効果及び今後の課題について伺う。

教育長

安心感をもって学習の調整、見守りを任せることができ、今後も人材の確保に努めたい

別室登校相談員が教員免許を持つていることにより、学校として安心感をもって学習の調整、見守りを任せることができていると認識している。学習の内容は、基本的にはその生徒の教科

担任が課題等を準備するが、自分の考えで学習を進める生徒、登校に対する緊張感を和らげるための活動に取り組む生徒もいる。

今後は、人材確保が課題であると考えており、中学校の全校配置や小学校への配置を見据え、教員免許等を持つ人材の確保に努めていく。

『その他の質問』 四項目



いぬかい 犬飼このり議員
(会派に所属していない)

民営簡易水道と市営水道との統合条件見直しや施設整備への補助金制度等創設について、本市の考えを伺う

別荘分譲地等の民営簡易水道と市営水道との統合に関し、平成五年施行の民営水道統合に関する要綱は、現状と乖離が生じていることから、統合条件見直しや施設整備への補助金制度等

創設について、本市の考えを伺う。

市長

公平性に鑑みた慎重な検討が必要であり、未統合事業者の現状把握を行う中で、諸課題を検討していく

民営水道の市営水道への統合については、平成五年に伊東市水道事業の民営水道統合に関する要綱の制定後、一〇事業の統合を行ってきた。

現在未統合の一二事業者からは、統合条件見直しの要望があるが、水道料金値上げの要因となるリスクや統合済み事業者との公平性の観点から、見直しには慎重な検討が必要であると認識している。

また、水道事業は水道料金による独立採算制であり、民営水道の施設整備への補助は、市営水道利用者の理解を得難いと考ええる。

今後は、未統合事業者の現状を把握する中で、統合に向けた諸課題を検討していく。

直接人事部門への立候補により異動できる庁内フリーエージェント制度を導入する考えはないか伺う

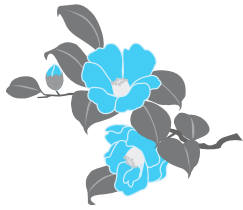
明るい伊東市を目指す人事マネジメントの観点から、直接人事部門への立候補により異動できる庁内フリーエージェント制度を導入する考えはないか伺う。

市長

職員の意欲等の把握という面では有用であり、制度導入について研究していく

現在の人事意向調査ではなく、職員と人事部門が直接面談等を行う庁内フリーエージェント制度は、異動への意欲や職務への熱量がより伝わるという面では有用であると考えるところから、制度導入を研究していく。

『その他の質問』 二項目



たくぼ まさき
田久保真紀議員
(会派に所属していない)

都市計画税の課税状況及び活用状況を伺うとともに、今後の見込みについて伺う

都市計画税は、地方自治体が都市計画事業等に要する費用に充てるため目的税として課税しており、本市は市内のほぼ全域を対象区域としているが、市民からまちづくりが進んでいる実感がないとの声を聞くため、都市計画税の課税状況及び活用状況を伺うとともに今後の見込みについて伺う。

市長

税の目的に合った事業への積極的な活用を考えている

ここ三年の都市計画税の課税状況は、当初予算額比較で年々減少傾向であり、令和六年度は環境美化センター管理費及び公園整備管理費等に一〇億七〇七四万

五〇〇〇円を充当している。今後は、整備が本格化する予定の伊東駅周辺地区整備事業及び環境美化センター管理費に充当するなど、税の目的に合った事業への積極的な活用を考えている。

統合により閉校となった学校の現状及び今後の利活用の方針について伺う

統廃合により閉校となった小学校が空いたままとなっているが、地域における学校は、閉校後も市民の関心や思い入れが強く、また、敷地内に体育館や運動場などがあり、様々な用途に利用できるため、統合により閉校となった学校の現状及び今後の利活用の方針について伺う。

教育長

市内スポーツ団体への暫定的な開放を行っている

市内には統廃合により閉校した小学校が三校あり、市民のスポーツ振興に寄与するため、体育館等につ

ては、閉校前に引き続き、市内スポーツ団体への暫定的な開放を行っている。

旧川奈小学校及び西小学校は、現時点で具体的な活用方法は決定していないが、旧旭小学校は、静岡県立東部特別支援学校伊東分校が移転し、特別支援教育のニーズに応えた、新たな環境での利活用が図られている。

『その他の質問』 二項目



あさだ よしひろ
浅田良弘議員
(会派に所属していない)

地域交通の担い手不足等の解決策として、ライドシェアの推進が必要と考えるが、本市の見解を伺う

ライドシェアは、タクシー事業者が実施主体となり、一般ドライバーによる有償運送サービスの提供を可能とするものであるため、本市でも地域交通の担い手不

足等の解決策として、ライドシェアの推進が必要と考えるが、見解を伺う。

市長

政府及び全国におけるライドシェアの状況を注視していく

本市におけるライドシェアの導入については、市内タクシー事業者の意向を伺っておらず、設備も含め導入環境が整っていないことから、現時点では導入が難しい状況ではある。

今後、政府及び全国におけるライドシェアの状況を注視するほか、公共交通の利便性向上などを図るため、市内タクシー事業者との意見交換を行い、連携を進めていきたいと考えている。

新設する競輪選手宿舍をホテルとしても活用することとした理由を伺う

令和六年三月定例会では、ガールズケイリン開催時における参加選手の環境改善及び特別競輪誘致のために

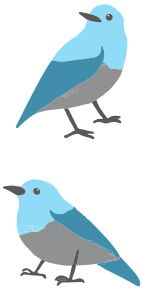
選手宿舍新館の建設を進めるとの説明であったが、先日の地元新聞の報道では、競輪非開催時はホテルとして活用する旨の記事が掲載されたことから、完成後はホテルとしても活用することとした理由を伺う。

市長

有事の際の避難所及び素泊まりのビジネスホテルとしての運用も視野に入れた

新設する選手宿舍については、ガールズケイリンを含む開催が年に六回程度であり、また、特別競輪の開催は数年に一度程度の誘致となり利用が限られると考えたことから、施設の有効利用を検討する中、青少年の合宿を目的とした利用や有事の際の避難所としての利用など、素泊まりのビジネスホテルとしての運用も視野に入れて考えた。

『その他の質問』 四項目



市議会内の会派構成

(令和六年八月一日現在)

■正風クラブ

村上 祥平 議員
鈴木 絢子 議員
◎佐藤 周 議員
宮崎 雅薫 議員

■自由民主 伊東

虫明 弘雄 議員
河島紀美恵 議員
中島 弘道 議員
◎井戸 清司 議員

■公明党

◎長沢 正 議員
竹本 力哉 議員
篠原 峰子 議員

■伊東未来

青木 敬博 議員
◎大川 勝弘 議員
杉本 一彦 議員

■政和会

◎四宮 和彦 議員
杉本 憲也 議員

■会派に所属していない

犬飼このり 議員
田久保真紀 議員
重岡 秀子 議員
浅田 良弘 議員

(◎) 会派代表者、

会派構成議員は議席順)

諏訪・伊東姉妹都市

議会議員交歓研修会

七月十一、一二日の二日間、諏訪市議会議員を本市に迎え、第二八回姉妹都市議会議員交歓研修会を行いました。

一日は、一般社団法人伊豆高原観光オフィス専務理事利岡正基氏を講師とし、「伊東市南部地区の課題と取組について」の講演があり、両市議による意見交換等を行いました。



諏訪市議会と伊東市議会とは、昭和四三年二月五日の第一回交歓研修会以来、四年に一度ずつお互いの市を訪問し、交歓研修会を行っています。

全市市議会議長会議員表彰

全市市議会議長会より、永年勤続の表彰を受けた議員に対し、六月定例会においてその伝達を行いました。

一五年以上勤続

四宮 和彦 議員

9月定例会の予定

8月28日(水)
開会

※日程等は、8月下旬の議会運営委員会において正式に決定します。
詳細は市議会ホームページにてご確認ください。

常任委員会だより

「常任委員会審査の中から、一部を抜粋」

ホームページにおいて、各委員会
要点記録を公開しております。



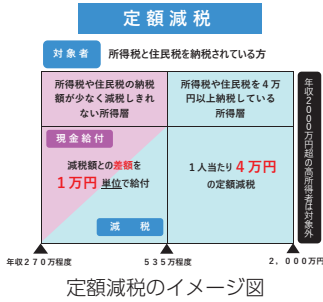
各委員会要点記録
はこちら

総務委員会

問 定額減税補足給付金の給付に係る本市の体制を伺う。

答 物価高騰下に鑑みた国の施策である定額減税に際し、減税しきれない場合などには補足給付金を支給することとなり、課税情報等との連携が必要であることから、総務部内に定額減税補足給付金事務局を設置することとした。

事務局については、二名程度の正規職員を常時配置し、また、会計年度任用職員の雇用及びコールセンターの開設も予定している。



定額減税のイメージ図

観光建設委員会

問 プレミアム付商品券の販売事業の効果を伺う。

答 物価高騰対策として経済効果に重点を置く施策とするため、プレミアム率五〇%の商品券を二〇万冊販売することを考えており、市の財源から拠出する金額はプレミアム額分の三億円であるが、九億円の消費効果が出るの見込んでいる。利用期間は、令和六年一〇月中旬から令和七年一月までを予定し、年末年始も利用できるよう配慮している。



市内の様々な店舗で利用できる商品券

福祉文教委員会

問 介護保険制度の改正に伴う、ケアマネジャーの配置基準に係る条例改正の目的を伺う。

答 ICT機器の活用等により、ケアマネジメントの質は確保しつつ、事業者の負担軽減、業務効率化を進めたい国の制度改正が背景としてあり、今回の改正により、事業所におけるケアマネジャー一人当たりの担当件数の引き上げ及び介護報酬の見直し等が図られることで、一定の処遇改善につながるものと考えている。



ケアマネジャーの処遇改善

議会改革 特別委員会



本委員会
ホームページ
はこちら

1 令和六年四月一日
& 五月一六日

委員会開催

まず、予算・決算の審議・審査方法の見直しについて、現在行われている分割付託の解消を第一に考え、現行の大綱質疑制を維持した上で、予算・決算特別委員会を設置していくとの結論に至りました。その後、実施に際しての検討事項の精査を行い、七月開催予定の本委員会において決定することとしました。

続いて、常任委員会の同時開催の解消について協議が行われ、令和六年六月定例会から別日開催とすること、及び、それに伴い、委員長報告は簡略化することが決定しました。

2 令和六年六月一四日
「中間報告」

令和六年六月定例会初日において、本特別委員会の中間報告を行い、異議なく了承されました。

編集後記

『夕日に映ゆる 一碧の湖（うみ）』 我が母校の大池小学校校歌の一小節です。小学生のとき、一碧湖は、暴れる赤牛を湖に沈めた伝説があり、怖いイメージのある場所でした。

近年、遊歩道整備や新規店舗が増え、近くにあるホテルから、一望できる景色にそのイメージを一変させられました。湖畔を歩くと、自然を身近に感じられるすばらしさがあります。

伊豆の瞳として、これからも輝きを増していってほしいと願います。

（村上祥平）

議会報編集委員会

委員長 杉本 憲也
副委員長 大川 勝弘
委員 村上 祥平
河島紀美恵
竹本 力哉

市議会に関するご意見
ご質問は議会事務局へ